

平成 22 年度 第 3 回市長タウンミーティング議事録

と き：平成 22 年 4 月 17 日(土)
午後 2 時～午後 3 時 30 分
ところ：中央公民館
参加者：43 人

○市長あいさつ

(市長より、平成 22 年度の施策・予算についての説明が行われました。)

○意見交換

意見・質問 (女性)

巖駅西口のエレベーターが設置され、夢が叶ったようにうれしいです。同様に、東口にも設置されるとのことでたいへんありがたく思っています。

それから、中央土地第一区画整理事業を見直す方向で考えていただきたいです。

最後に、78 歳の友人が認知症になってしまいました。個人でのサポートには限界があるので、独り暮らしのお年寄りをサポートする施設をつくっていただけませんか。

回答 (市長)

巖に限らず、認知症のかたは増えてきていると思います。そういったなかで、大きな施設でなく、少人数で共同生活するグループホームというスタイルが増えていきますし、その必要性を感じています。ご相談いただければ、色々な場所をご紹介できると考えております。

また、認知症のかたについては、契約上のトラブルも多くなっております。成年後見制度という制度があり、本人の判断で契約等をするのが難しいかたの場合、成年後見人を指定すると、本人が交わした契約は無効になります。身内のかたが成年後見人になることができない場合でも、市長名で成年後見人を申し立てる制度もありますので、総合社会福祉センター内の地域包括支援センターにご相談ください。

先日は錦町で認知症予防講座が行われました。そういった、健康づくりを進めていく講座を開いていくことも大事だと考えております。

質問 (女性)

近所の街灯がついたり消えたりするので困っています。新しいものは、いつになったらできるのでしょうか。

回答（市長）

マニフェストの防犯灯を年間 75 基設置、というのは、すべて新しい場所に設置するわけではなく、新規のものと、古くなった街灯を取り替えるものと合わせて、75 基となっております。設置の場所については、町会の要望に基づいて進めております。お話を伺った限りでは、電球が切れかけている可能性もありますので、まずはその取替えをご依頼いただければと思います。街灯については、町会が管理しており、そちらを通して依頼をいただいております。

質問（男性）

新生会のチラシによると、「国保会計の赤字補填などとんでもない」、「国保税の収納率がとても悪い」とありました。私自身過去に、市に奉職し、国民健康保険や生活保護にも携わったことがあります。

経験者からすると、生活保護は容易に認定をするものではなく、本来は国の審査も非常に厳しいものです。そんななかで、生活保護費に 21 億円も使われたということは、あったか市政というよりも、日本の現状がそうさせていることを、声を大きくしていただきたいです。

国保税の収納率が平成 20 年度 50%というのは事実なのでしょう。国保会計の繰り出し金が 10 億円を超えるというのは、個人的には望ましいことではないと感じていますが、市長としてはどうお考えでしょうか。

回答（市長）

確かに、平成 20 年度の国民健康保険税の収納率は、蕨でも、国全体でも下がりました。その理由は 2 つあります。まず 1 つは、75 歳以上の後期高齢者医療制度がはじまったことです。元々収納率の良かった 75 歳以上のかたが、国民健康保険から外れたことによる収納率の低下が考えられます。制度がはじまる前から予想されていたことで、全国的にも同様の傾向があります。もう 1 つは、不景気の影響です。こちらも全国的に同じです。

次に、収納率 50%という数字についてですが、これ自体は間違いではありません。過去の年度からの累積の滞納額を含めて計算すると 50%になりますが、通常はこのように算出した数字は使いません。普通、収納率というのは、20 年度であれば、20 年度分の税金が何%納まったかを問題にします。蕨市は収納率 82.8%、戸田市は 81.9%、川口市は 79.6%、鳩ヶ谷市は 86.8%となっており、近隣 4 市の中では、良い方から 2 番目となっています。一般的に、人の転出入の関係で、東京に近い都市部は収納率が低く、農村部では高いようです。過去の分も含めた収納率を見ると、他市でも 50%台というところもありますが、蕨は 50%ということで低い数字になっています。その理由を分析してみたところ、20 年度決算で過去の累積滞納分が約 11 億円あります。そのうち、私が市長に就任したのは 19 年度ですが、それより前の 18 年度以前の分だけで約 9 億円ありました。非常に古いものが

多いのですが、蕨の場合、税金を時効にさせないための努力をしてきたこともあり、その分、過去からの滞納の累積が多くなり、50%という数字に表れてしまっています。過去の滞納分についても差し押さえも含めて、可能なものは納めていただくよう努力を強めていますし、不可能なものは法律に基づいて対応しております。過去のものが多く残っているために、50%という数字が出てきているということをご理解いただければと思っています。

生活保護につきましては、増えていること、予算が21億円ということも事実ですが、その最大の要因はリーマンショック以降の不景気や、派遣切りなど雇用の不安定化にあり、全国的にも急増しております。平成16年と21年を比較すると、生活保護受給者は蕨の場合約1.5倍(世帯数での比較)、さいたま市は約1.7倍に増えています。

生活保護は、法定受託事務という、国の仕事を市が請け負う形をとっております。法律に基づいた対応が必要ですので、必要なかたには生活保護が受けられるようにし、必要なくなつたかたには保護をやめるといったことを、きちんと運営していくことが大事だと考えております。国の制度であるがゆえに、お金についてもすべて国が負担するのが基本的な考え方です。具体的には、4分の3が国庫負担金、残りの4分の1を地方交付税で負担する仕組みになっています。

質問（男性）

みゆき商店街の街灯の取り替えでお金がかかります。市からの補助金は出るのでしょうか。

回答（市長）

LEDに取り替えるとの話を聞いています。3分の1を、県と市で半分ずつ補助いたします。商店街の街路灯の電気代は、市ではなく商店街が負担しています。以前は、電気代の4分の1を市が補助しておりましたが、一昨年より3分の1に割合を引き上げました。LEDにすると、電気代も下がるので、負担を減らす効果があるのではと考えております。

意見・質問（女性）

昨年、交通事故の多発地域重点事業ということで、市から依頼を受け、塚越地区の道路診断をいたしました。特に小学校、保育園、高齢者が集う施設の周辺を中心に調査しました。進入禁止マーク、止まれの標識などが薄くなっている道路がたくさんあり、指摘した箇所は直していただきました。補助信号に植木がかぶさっているなど、あまりお金をかけずに道路診断できる部分については、可能な範囲でお手伝いをさせていただくことも、交通事故を防ぐために必要なことだと考えております。

蕨駅西口を出て1つ目の信号を左に曲がった道路の、ハナミズキの植木が枯れて、そのままになっています。可能であれば、見ていただけないでしょうか。

また、LED防犯灯の設置を積極的に進めて欲しいです。蕨は夜9時を過ぎると暗いよう

に感じています。市全体を明るくするように考えていただきたいと思います。

西口のエレベーターは、とても快適で、良いと感じております。ただ、エレベーター入口の椅子に、ガムが黒く付着しています。きれいにすることはできないでしょうか。駅というのは市の顔ですから、放置自転車についても積極的に対応していただけたらと思っております。

回答（市長）

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

まず、交通事故多発地区の整備は、北町、南町、塚越と順次進めており、22年度は中央地区を予定しております。実際に生活をしている皆さんの目線で、危険な場所を指摘していただくのは非常に効果的です。22年度も道路診断などご協力をお願いいたします。

ご指摘いただきました植木の道路につきましても、県道でございます。本日は県会議員さんにもご出席いただいておりますので、対応していただけるのではないかと思います。引き続き、お気づきの点がございましたら、声を掛けて下さい。

LEDにつきましても、環境面でも良いものですので、積極的に取り入れていきたいと考えています。

エレベーター入口の椅子に付着しているガムですが、時間が経って、こびりついたものを取るのはいへんです。マナーの問題もありますが、地元の皆さんの力もお借りしながら、きれいなまちづくりをする努力をしたいと考えております。

質問（女性）

公共公益施設「くるる」ができるのを、非常に楽しみにしております。駅からは近いが、市民が利用するには駐車場が必要です。市としては、利用者の駐車場についてどうお考えでしょうか。

回答（市長）

現状では、専用駐車場はございません。検討はしましたが、色々な制約もあり、今のところ実現していません。将来的には必要だと思っておりますので、良い案を考えていきたいと思っております。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。